

ベルメゾン生活スタイル研究所が、2017年女性の生活スタイル潮流を発表

「イマを楽しむ。ミライに備える」生活スタイルへ。

「イマを楽しむ。ミライに備える」5つの生活キーワード

- ☆イマを楽しむために、①「ワクワクする体験をしたい」
②「気持ちよく暮らしたい」③「おいしいものを味わいたい」
- ☆ミライに備えるために、④「いつまでも若さを保ちたい」
⑤「成長や自立を目指していきたい」

株式会社千趣会（本社：大阪市 代表取締役社長：星野裕幸 以下千趣会）が運営するベルメゾン生活スタイル研究所では、女性のライフスタイルに関する100項目について、現在の実態と今後の意向を伺う「現在のあなた、今後のあなた」アンケート調査を毎年実施しています。今年の調査結果から見てきたのは、イマを楽しむために①ワクワクする体験をしたい。②気持ちよく暮らしたい。③おいしいものを味わいたい。ミライに備えるために④いつまでも若さを保ちたい。⑤成長や自立を目指していきたい。という5つの生活キーワードです。先行き不透明な時代だからこそ、後悔しないように今を存分に楽しむ。一方で将来の不安に対してはきちんと備える。そんな女性生活者の気持ちが、2017年以降の消費やライフスタイルに大きな影響を及ぼしていくことが予測されます。

●調査は以下の3回に分けてインターネットで実施しました。

- ①「現在のあなた、今後のあなた調査1」2016年10月14日～10月26日に実施。20代～60代女性958人の回答を集計
- ②「現在のあなた、今後のあなた調査2」2016年10月14日～10月26日に実施。20代～60代女性1158人の回答を集計
- ③「現在のあなたの気持ち調査」2016年10月3日～10月20日に実施。20代～60代女性2597人の自由回答から抜粋。

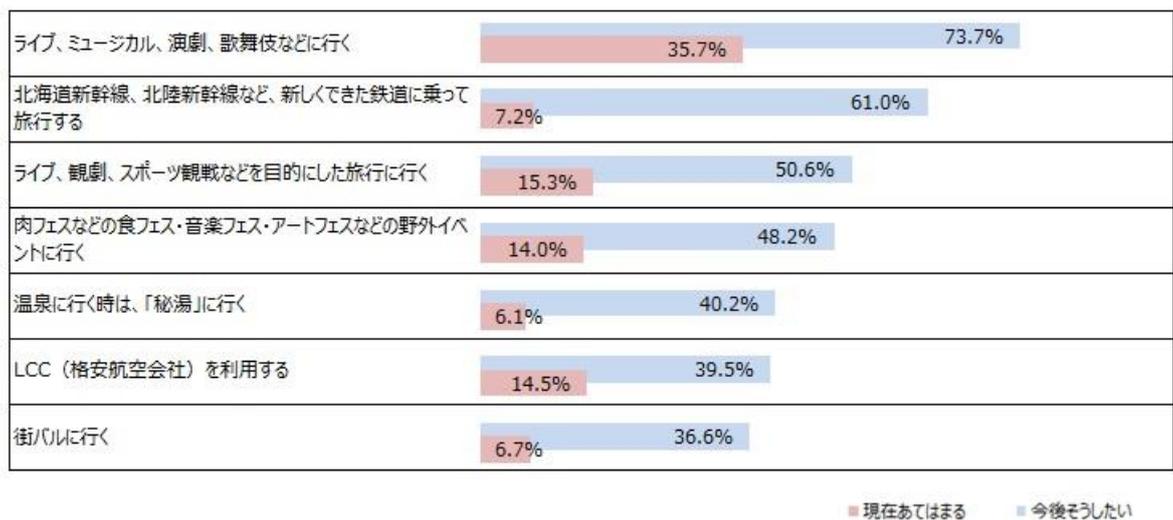
2017年女性の生活スタイル潮流①

◆イマを楽しむために、「ワクワクする体験をしたい」。

「モノ消費」から「コト消費」への流れは、これからもより一層強まっていきそうです。今後の意向を聞くと「ライブ、ミュージカル、演劇、歌舞伎などに行きたい」（現在35.7%→今後73.7%）、「北海道新幹線、北陸新幹線など、新しくできた鉄道に乗って旅行したい」（現在7.2%→今後61.0%）、「ライブ、観劇、スポーツ観戦などを目的にした旅行に行きたい」（現在15.3%→今後50.6%）と考える人が大幅に増加。また、「肉フェスなどの食フェス・音楽フェス・アートフェスなどの野外イベントに行きたい」（現在14.0%→今後48.2%）、「街バルに行きたい」（現在6.7%→今後36.6%）と思う人の割合も現在の実行率から比べると大幅に上昇。イマを楽しむために、ワクワクドキドキする体験を求める女性が増えつつあることが予想されます。

【フリーコメントから】

- 「先のことばかり心配しすぎないように『今』も大切にしようと気をつけています。あまり節約しすぎないように、好きなヨガや石鹸造りにはお金をかけます！！（20代、静岡県、派遣社員）」
- 「物質的なことよりもライブ、お芝居、スポーツ観戦等、ココロが刺激を受けることにお金を使っています。（40代、北海道、契約社員）」



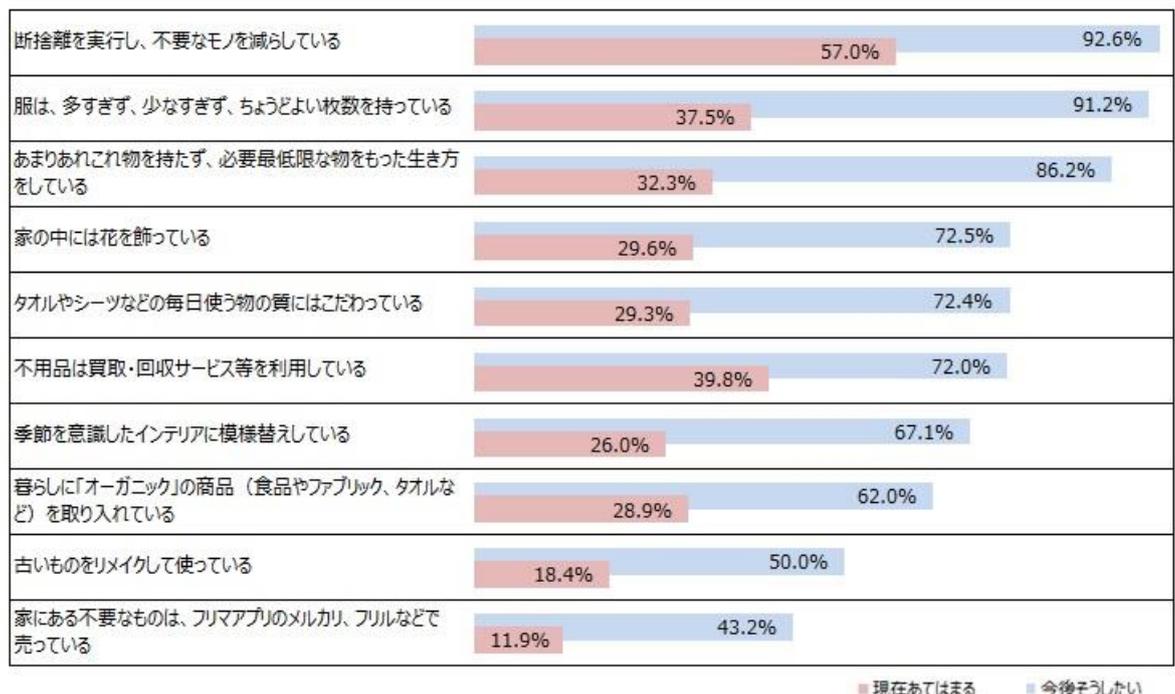
2017年女性の生活スタイル潮流②

◆イマを楽しむために、「気持ちよく暮らしたい」。

不要なモノはできるだけ処分してスッキリとシンプルに暮らす女性はますます増えていくでしょう。今後の意向を聞くと、「あまりあれこれ物を持たず、必要最低限な物をもった生き方をしたい」（現在 32.3%→今後 86.2%）、「服は、多すぎず、少なすぎず、ちょうどよい枚数を持っている」（現在 37.5%→今後 91.2%）、「家にある不要なものは、フリマアプリのメルカリ、フリルなどで売りたい」（現在 11.9%→今後 43.2%）と考える人の割合が大幅に増加しています。また、「タオルやシーツなどの毎日使う物の質にはこだわりたい」（現在 29.3%→今後 72.4%）、「季節を意識したインテリアに模様替えしたい」（現在 26.0%→今後 67.1%）、「暮らしに“オーガニック”の商品（食品やファブリック、タオルなど）を取り入れたい」（現在 28.9%→今後 62.0%）と考える人の割合も上昇。イマを楽しむために、シンプルに暮らしつつもこだわりの心地よさを求める女性が増えていくことが予想されます。

【フリーコメントから】

- 「丁寧に暮らしたいので、掃除や片付けはもちろん、インテリアのグリーンや家の外のグリーンや花の世話をする。（40代、神奈川県、パート）」
- 「不用品があれば、ごみに出すのではなく、フリマアプリなどを活用し、少しでもおこづかい稼ぎをする。（20代、宮城県、契約社員）」
- 「ご褒美で買いまくった時代は終えて、物を整理し管理しやすい方向へ行こうと思った。質の良いものを丁寧に使って行こうと思っている。（50代、東京都、契約社員）」



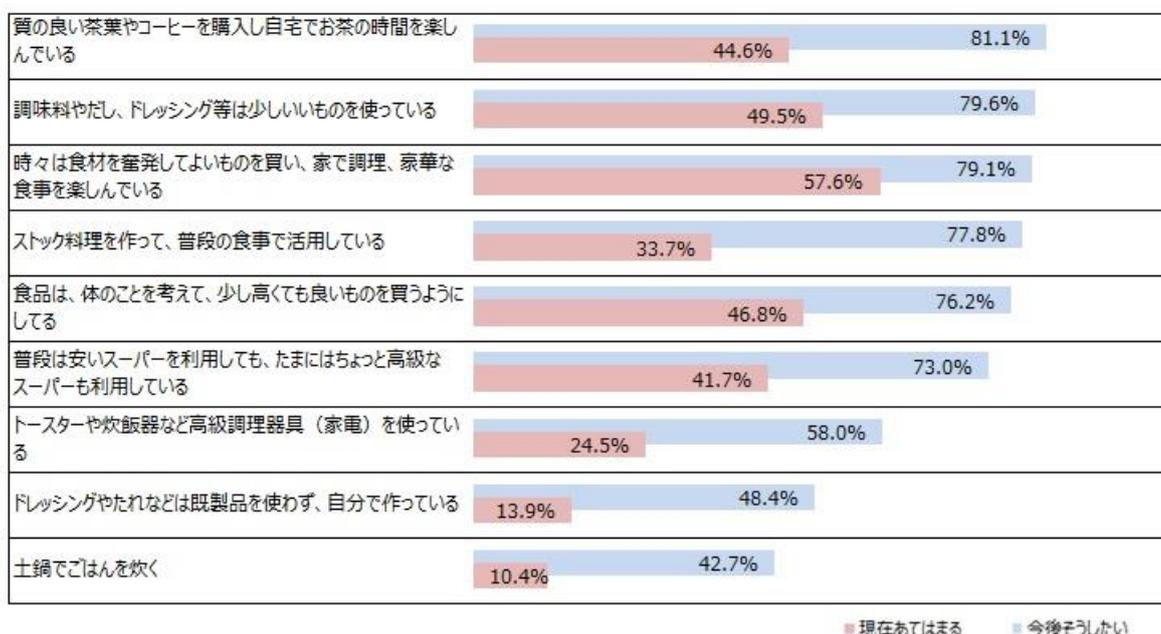
2017年女性の生活スタイル潮流③

◆イマを楽しむために、「おいしいものを味わいたい」。

おいしいものを楽しむことは幸せの原点。食にこだわる女性はますます増えていきそうです。食に対する今後の意向では、「調味料やだし、ドレッシング等は少しいいものを使いたい」（現在 49.5%→今後 79.6%）、「質の良い茶葉やコーヒーを購入し自宅でお茶の時間を楽しみたい」（現在 44.6%→今後 81.1%）、「時々食材を奮発してよいものを買って、家で調理、豪華な食事を楽しみたい」（現在 57.6%→今後 79.1%）、「普段は安いスーパーを利用しても、たまにはちょっと高級なスーパーも利用したい」（現在 41.7%→73.0%）、「トースターや炊飯器など高級調理器具（家電）を使いたい」（現在 24.5%→今後 58.0%）と考える女性の割合が大幅に上昇。イマを楽しむために、美味しい食材や料理にこだわる女性の気持ちは、今後も一段と強まっていくことが予想されます。

【フリーコメントから】

- 「料理が好きなので、地元の食材を色々探し回って買い、家族に新鮮で素材の味がわかるものを作ってあげる。こと。（40代、宮城県、パート）」
- 「料理の腕を磨いています。多少食材が高くて夫婦で消費する量は知れてるし、外食より安いので。その代わりに、外で食べる時は思い切り良く楽しんで、家で作る時の参考にします。（30代、兵庫県、正社員）」



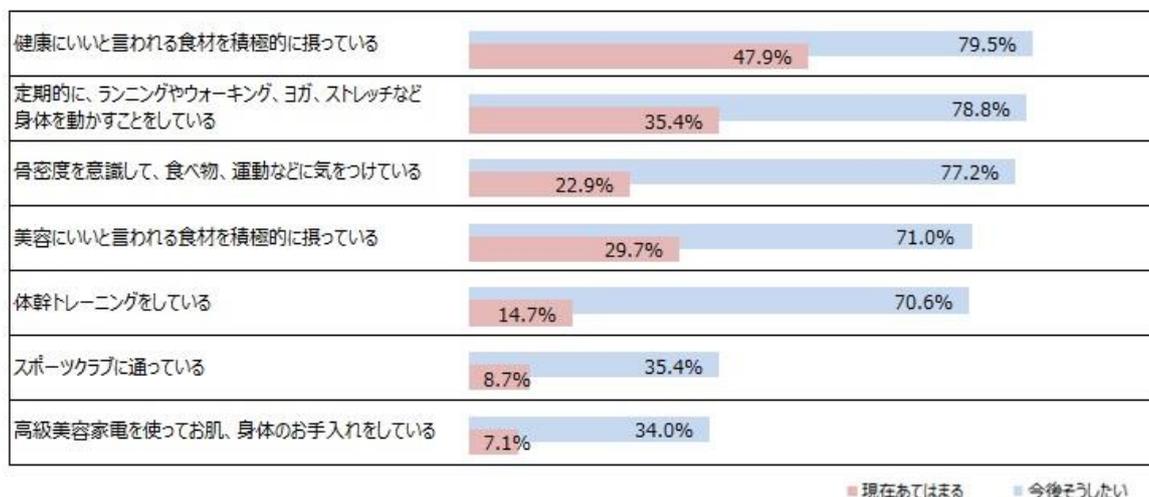
2017年女性の生活スタイル潮流④

◆ミライに備えるために、「いつまでも若さを保ちたい」。

先行き不透明な時代は自分や家族の身体が資本。長い目で見た本質的な健康づくりに取り組む女性が増えています。健康や美容に関する今後の意向では、「骨密度を意識して、食べ物、運動などに気をつけてたい」（現在 22.9%→今後 77.2%）、「体幹トレーニングをしたい」（現在 14.7%→70.6%）、「健康にいいと言われる食材を積極的に摂りたい」（現在 47.9%→今後 79.5%）といった項目が軒並み上昇。サステイナブルな健康志向が高まっていきそうです。また、「美容にいいと言われる食材を積極的に摂っていききたい」（現在 29.7%→今後 71.0%）、「高級美容家電を使ってお肌、身体のお手入れをしていきたい」（現在 7.1%→今後 34.0%）といった項目も上昇。健康面でも美容面でも若さをずっと保っていききたいという気持ちは一層強まっていきそうです。

【フリーコメントから】

- 「健康でいる事で現在のゆとりある生活を維持していられると思っているので、筋トレにお金がかかっても仕方ない。（50代、栃木県、パート）」
- 「ヨガスタジオに通うようにしてる。月一でネイルサロンとマツエクサロンに通ってキレイを磨く様にします。（40代、千葉県、正社員）」
- 「年に2回、美容院に縮毛矯正パーマをかけに行くのに、腕の良い所は正直高いが、節約してイマイチな髪で毎日憂鬱に過ごすことになるよりも、高くても上手にやってくれる方を取っている。（30代、埼玉県、正社員）」



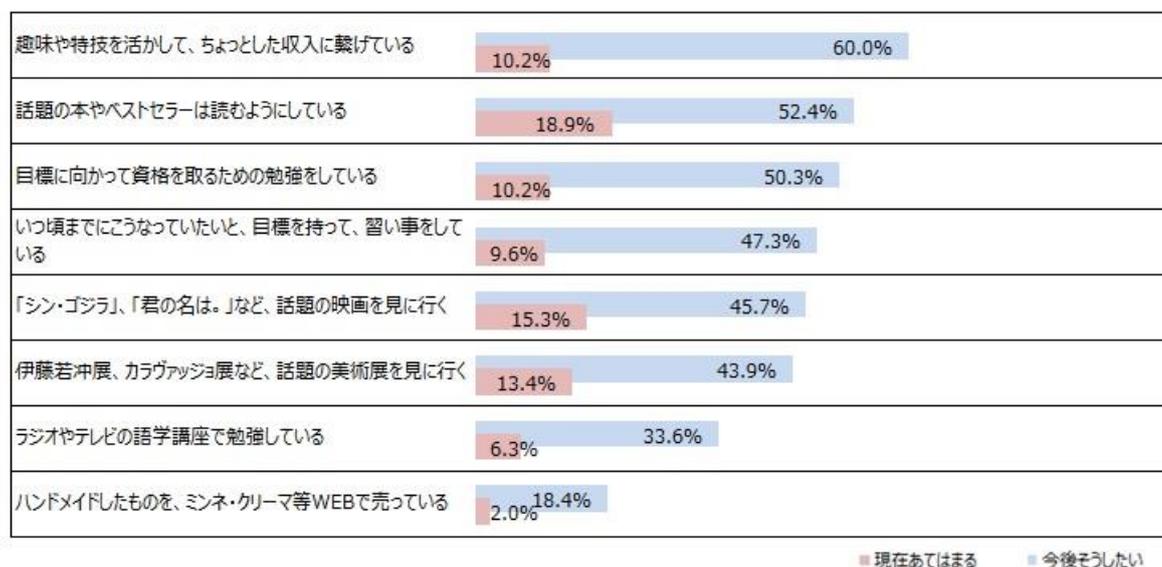
2017年女性の生活スタイル潮流⑤

◆ミライに備えるために、「成長や自立を目指していききたい」。

年金はあてにできない。将来の資産や貯金に不安がある。老後を心配する女性は増加傾向にあります。そんな中で、自立できることを目指したり、自分の成長のためにチャレンジする人は確実に増えていきそうです。今後の意向を聞くと、「目標に向かって資格を取るための勉強をしていききたい」（現在10.2%→今後50.3%）、「趣味や特技を活かして、ちょっとした収入に繋げていききたい」（現在10.2%→60.0%）、「ハンドメイドしたものを、ミネ・クリーム等WEBで売っていききたい」（現在2.0%→今後18.4%）と考える人が大幅に上昇。また、「話題の本やベストセラーは読むようにしていきたい」（現在18.9%→今後52.4%）、「伊藤若冲展、カラヴァッジョ展など、話題の美術展を見に行きたい」（現在13.4%→今後43.9%）と考える人の割合も増加しています。ミライに備えて、自分を高める行動をとる女性が今後も増えていくことが予想されます。

【フリーコメントから】

- 「自分の経験を役立てて、少しでも人のためになれるようなことをしたいと思い、資格取得に向けて勉強を始めたところです。資格を取ったとしても、それを活かさなければ意味がないので、これからの自分の人生においてどのように仕事や社会貢献をしていくかを模索しているところです。（40代、千葉県、正社員）」
- 「着付け。娘に着せるために習い始めましたが、自分で着たり、人に着せたり練習するうちに、いつかプロの着付け師に・・・と目標を持ったり。（40代、大阪府、アルバイト）」
- 「資格の勉強を始めた。勉強関連のためなら、少しお財布のひもをゆるくしてもよいかと思っています。（20代、大阪府、契約社員）」
- 「自分自身のためにフランス語を習っていて将来は語学留学をしたいと思っています。できたら2020年東京オリンピックで通訳のボランティアをしたいと思っています。（50代、栃木県、正社員）」



●なお、今回の調査結果について詳しくは、ベルメゾン生活スタイル研究所のホームページをご覧ください。

<http://www.b-desse.jp/report/2055>

※ここに掲載されている情報は、発表日時点の内容となります。

◎本件に対するお問い合わせ先

株式会社千趣会 経営企画本部 広報部 : 加藤 浅川

東京都品川区北品川 5-9-11 大崎 MT ビル

TEL : 03-5475-7513 FAX : 03-5475-7516 e-mail : pr@senshukai.co.jp